

Otemae Winds

大手前ウインズ <http://www.otemae.ac.jp/>

大手前大学・大手前短期大学は グローバル化へ



理事長・総長
福井 有

今やビジネスの世界ではグローバルな展開なしに考えることはできない時代になりました。我々の大学業界も、このグローバル化の例外ではありません。本学もこのグローバル化の波に先んじて日本企業のグローバル化に貢献できる人材教育を目的とする英語による専門科目の授業であるGJS (Global Japan Studies Program) を始めます。学長はじめ、安藤先生を中心に準備を進めてもらっていますが、

この授業を受講する日本人学生には毎年1年の留学経験をさせる予定です。現在12校ある海外提携校を本年度中に20校に増やしていき、これらの大学との交換留学を進めます。アメリカのデイズニーワールド・インターンシップ・プログラムも、セントラル・フロリダ大学の協力により、サービスマネジメントの授業がインターンシップの前後に受講でき、半年間のトレーニングを経て本学に戻り所定の単位を取得すれば、ホスピタリティ・マネジメントのメジャーが与えられます。

今申したことを通じ、来るべき大学創立50周年にあたる2016年ごろにはインターナショナル・リベラルアーツカレッジと呼ばれる大学であってほしいと思っています。

あすにはばたけ

大手前の翼



大手前大学 学長
柏木 隆雄

大手前大学は理想の教育をリベラルアーツに置き、以来常に大胆な改革を行ってきました。学生に「社会人基礎力」をつけさせ、学生自ら「創る専門性」を育むリベラルアーツカレッジ、これを学生本位の視点で教職員が一体となって取り組む。学力を的確に評価して、社会で活躍するに足る質を保証するブランド・デザインを昨年3月に策定しています。

まず教育の充実。学内のFD活動を活発にし、教員の相互授業観を奨励、コメントの応酬を通して教育力のアップを図る。出席率も考慮した学生の授

大手前大学の挑戦

—大学改革のめざすもの—

業アンケートは、その理解度や開発能力を問うて学生の自覚を促し、学生の率直な意見を汲み取って授業に活かす。学生のポートフォリオを作成、さらにCreativity, Logical Thinkingなどを基幹のCC-PLATS教育を実施して、批判的思考力や課題発見・解決能力の育成を図り、「学習能力の涵養と健全で思慮深い判断力の育成」というリベラルアーツ型カレッジの理想へと着実に踏み出しています。全学生が参加するプレゼンテーション大会はその成果の一つです。特筆すべきは200名に及ぶ一般人からなる教育ボランティア制度で大学の活性化の大きな力となっています。

3面にて「大手前大学創立50周年に向けて「大学改革」を取り上げているので、どうぞご覧ください。



大手前大学
総合文化学部・スイーツ学専攻 教授
松井 博司

うめきた「Sweet's Lab」で、 スイーツ学の発信をめざして

2012年、大手前大学に日本で初めて「スイーツ学専攻」が開設され、いよいよそのコンセプトに基づいたスイーツの情報発信基地「Sweet's Lab」が、今春誕生します。スイーツ学とは、お菓子を制作するという意味の「製菓」を超えた、新しい分野の学術領域の表現として提唱しました。製菓技術の習得はむしろ専門学校で多くの演習を受けることで足りる。大学におけるスイーツ学の本質とは、単なる技術の習得に留まらず、技術・科学技術の研究、食品加工・製品開発力の育成、歴史や文化、デザインや造形、色彩やアート(工芸技術)、経営・マーケティング、ホスピタリティなど、基礎から応用して専門領域まで、多様なジャンルで学ぶ体系にあるのです。したがって、将来の就職業種も多彩な分野での活躍が期待されています。

生活の中でスイーツ

出てこないのが現状です。スイーツは和洋とも18〜19世紀にほぼ成熟し、現在の菓子の「正地」の完成をみました。つまり現在のスイーツは、その時代から大きく抜け出せてい

2面にて「Sweet's Lab」を取り上げているので、どうぞご覧ください。

この時代は、まさに「Sweet's Lab」の豊富な経験と情報の収集力、創造性や感性が必要になってきます。つまり、スイーツに関する「スペシャリスト」の育成が必要というわけです。

いのです。本当の意味で新しいスイーツが待ち望まれているのです。それは消費者の立場のみならず、生産者の立場においても技術革新と優秀な人材の育成に必要な課題でもあります。日本では食料の基礎研究は、公的研究機関で行い、主に食品材料の研究開発は、大手食品企業の理系の優秀な人材によって行われています。このことは、これからの推奨されるべきでしょう。しかし、素材の研究や商品化までの開発には、商品開発力を持った人材が必要で、今こそ一層不足しているのです。この能力を身に付けるには、机上の知識だけでなく、ものづくりの豊富な経験と情報の収集力、創造性や感性が必要になってきます。つまり、スイーツに関する「スペシャリスト」の育成が必要というわけです。



2013年 春 話題の新名所

うめきた・グランフロント大阪
「ナレッジキャピタル」に

Sweets Lab

スイーツ・ラボ

今春、話題の新スポット、グランフロント大阪の中核施設となるナレッジキャピタルに、大学・短期大学・専門学校を通じて製菓教育を展開する大手前学園が、その総力を結集し、スイーツの新たな価値創造をめざし「スイーツ・ラボ」をオープンします。今までにないスイーツを研究・開発・販売するユニークな教育機関「スイーツ・ラボ」の全貌をいち早くお届けします！

2013年
4/26(金)
オープン！

誕生！



ナレッジキャピタルとは？

行政機関、企業や研究者、クリエイターら、分野を超えた才能が協業して今までにない商品やサービスを生み出す「新しい価値の発信基地」です。人材を育て、ビジネスを生み、文化や国際交流を促進する新たな機関です。

スイーツ・ラボとは？

大きなテーマは「新しいスイーツの情報を発信！」

スイーツのさまざまなプレーヤーが集う場所

スイーツ研究拠点として、スイーツ研究員を育成します。

ターゲットはスイーツが好き、興味あるすべての人たち！

産官学連携の場として新しい街づくりに取り組む「ナレッジキャピタル」。大手前学園は、スイーツ業界の代表としてこのプロジェクトに参加。新しいスイーツビジネスの創出、文化の発信をめざし、スイーツで社会貢献を！という思いから「スイーツ・ラボ」が誕生しました。プロの研究の場であり、市場調査や発表会など業界とのコラボの場であり、ファミリーでも楽しめる空間でありたい。そしてスイーツを多くの人に知ってもらいたい！ まだまだ新しいスイーツ学の体系化をめざします。



スイーツ学とは？

実技はもちろん、歴史・文化・マーケティングなど、スイーツをトータルで研究し、そして楽しむ新たな学問です。

プロ・セミプロの技術向上、研究の場として、初心者が基礎から学ぶ場として、夜間レッスンを利用して仕事との両立など、それぞれの目的とニーズに合わせた多彩なカリキュラムを準備。自分の学びたいことを、自分のライフスタイルに合わせて学ぶことができます。



ラボ
学び

Sweets Lab

ギャラリー
情報発信

スタジオ
交流



新しい材料や道具などを実際に見て、使い方が学べるミュージアム的なスペース。購入することもできます。またスイーツ販売(テイクアウト)も。



企業コラボや発表会、セミナー・ワークショップなどを、サロン形式やイベントとして行うなど、多目的情報発信・交流スペースの場です。



趣味を極めたい人から現役パティシエのスキルアップまで幅広いコースラインナップ。研究テーマ別に細かなクラス制だから、あなたのやりたいが見つかり、効率的に学べます。上手に組み合わせて、目標に向かってスキルアップ！

めざせスイーツ研究員！

セミ・プロ、一般の方で、スイーツの世界で自分の力を試してみたい！という方は「スイーツ研究員」をめざしませんか。将来的に開催予定のオーディションで合格すると、ギャラリーでのオリジナルスイーツ販売や、企画参加などで活躍いただくチャンスも。

5月 レッスン開講！

お菓子やパンが作れるようになりたい。仕事がシフト制で不規則だから、決まった曜日に通うのが難しいけれど...

32歳・販売職



就職して10年。独立を意識し始めました。一定レベルの製菓技術はあるので、最新の技術や看板メニューになる新商品開発を学びたい！

29歳・パティシエ



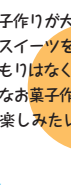
子どもが小学生になり、時間にゆとりが出たので、好きだったお菓子作りを再開したい。いつか自宅教室を開くのが夢。

38歳・主婦



製菓の専門学校卒業後、他業種へ就職。将来は、自分で作ったスイーツを出せるカフェを開きたい。プランクもあるので学び直して、カフェ経営の知識も学びたい。

25歳・会社員



お菓子作りが大好き！でもスイーツを仕事にするつもりはなく、ただ大好きなお菓子作りをどこか楽しみたい。

30歳・OL



講座紹介



※写真はイメージです

オープンイベント開催！

5月から7月の3か月間は「ヨーロッパフェア」を開催します

5月
テーマ

フランス菓子

M.O.F (国家最優秀職人賞)受賞のフランス人講師を招き、フランス菓子の紹介やデモを行います。

ウィーン菓子

6月
テーマ

オーストリアマイスター資格取得・ペーター・ミラウツ氏を招き、ウィーン菓子&マジパンを紹介。

7月
テーマ

ポーランド菓子

最近、注目度の高い東欧・ポーランドの菓子を紹介予定。

初級レベル ☆	中級レベル ☆☆	上級レベル ☆☆☆
・お菓子基礎コース ・おうちパティシエ★コース ・パン基礎コース	・スイーツデコレーション ・ヘルシー&ベジタブル スイーツ ・コース ・カフェコース	・天然酵母パンコース ・工芸技術コース (チョコレート・飴細工) ・生地研究コース

*上記は一部抜粋です。詳細はお問い合わせください。

*各コースの受講料、期間、開催日程はお問い合わせください。目的に合ったコースは体験レッスンでご相談ください。

大手前学園グループの取り組み

日本一の三大ピラミッド



大手前製菓学院専門学校の名物「お菓子の日本一企画」。1998年にスタートし、2012年に15回目を迎えました。毎回テーマを決め、お菓子を素材とした巨大オブジェを制作するというもので、15周年を記念して大手前大学・短期大学を含めた学園全体の力を結集し、大阪・夙川・伊丹の3キャンパスに「ギザの3大ピラミッド」を制作しました。

日本一企画を終えて

「スイーツ・ラボ」オープン間近ということもあり、今回の日本一企画は、初めて大手前学園グループの総力を結集し、取り組みました。完成後、学生が作品を見るために、お互いのキャンパスを往来するなど交流が生まれ、3つのキャンパスがひとつとなりました。

ピラミッドは小さいパーツが集まった集合体ですが、学生一人ひとりが力を合わせて作っていく作業にはもってこい。また同じものを何回も作ることで技能も確認でき、ものづくりのトレーニングにもなるのです。

日本一企画プロジェクトリーダー
松井博司 教授

お問い合わせ・受講お申し込みは

TEL : 0120-811-277
10:00~19:00





大手前大学 副学長／
キャリアセンター部長

芦原 直哉

自ら考え 行動する人材を養成

本学はリベラルアーツ型大学としてG・PLATS能力開発システム、及びPBL+SDL型学修の教育体系を構築し、学生が能動的に思考・行動して困難な問題を解決していく能力基盤を養成しています。リベラルアーツ大学は社会を先導するリーダーを養成するため、大学です。一般の大学では専門分野の知識や技術を学びますが、リベラルアーツ大学では学生が将来どのような分野に進もうともその社会を先導できる基本的能力を修得します。

それでは社会を先導するリーダーに求められるのはどのような能力でしょうか。それは問題解決能力です。社会はその目的や目標に向けて構成員が協働しています。目標を達成するために

は障害となる困難な問題を次から次へと解決していかなければなりません。その解決策に正解というものはありません。正解がない問題を解決するには単なる知識ではなく、知識や情報を融合させて新たな価値を生み出す能力が必要となります。吉田松陰も述べているように「博聞強記（記憶力が良い物知り）ではなく、実際に物事をやり遂げることができる」「実材実能」の人材が必要なのです。本学ではその問題解決能力を3つの基盤能力と10の能力（コンピテンシー）に体系化したG・PLATS能力開発システムを構築しました。それら

の能力とは、社会基盤能力（社会的責任、チームワーク）、思考基盤能力（論理的思考、分析力、創造力、計画力）、行動基盤能力（コミュニケーション、プレゼンテーション、リーダーシップ、行動力）です。

本学は問題解決能力を養成するために従来型の一方的講義を止め、PBL型学修+SDL型学修へ変革しました。PBL型学修はProblem Based Learningの略でまさに問題解決型学修です。全ての授業において、学生は与えられた課題について調査・分析し、自分の考えを授業で発表します。そしてお互いに考えをぶつけ合って議論することに、学生相互が教え学び合っています。PBL型学修における教員の役割は知識の詰め込みではなく、学生の学修への助言を行い、議論を活性化させて学修への意欲と能力を引き出すことにあるのです。

このような問題解決型学修は必然的にSDL型学修（Self-Directed Learning：自己主導型学修）となります。受け身の学修ではなく、自ら能動的に学修します。この学修を積み重ねると、学生は能動的に課題を発見し自律的に解決策を提案するようになります。本学では「学び」というのは学生自身が能動的に行うもの、という原点に立ち、学生が主役の学びを具現しているのです。

創立50周年に向けて 大学改革

2016年、大手前大学は創立50周年を迎えます。50周年の記念の節目に向けて、大手前大学はさらに進化を続けてまいります。新しい大手前大学に、どうぞご期待ください。



21世紀、瞬時に情報が地球規模で伝達され、国際関係がめまぐるしく移り変わる世界の中で生きる、新しい世代の人間を育てる教育は、かつてなかったほどに重要な役割を担っていると言えそうです。こうした時代に必要とされる人間をグローバル人材と呼ぶならば、それは「国境や文化の壁を超えて、互いの違いから学びあうことのできる精神の柔軟性と、それを保証するコミュニケーション能力、そして生産的な人々

間の関係を作り上げるスキルを持った人間である」とも言えます。「Think globally and act locally」という言葉に端的に表現されているように、地球共同体の視点を持ち、発想し、しかし自らの生きる「現場」で地についた活動をするのできる人材が育つ教育環境の整備は、今、大学教育に課せられた最も重要な使命であると私たちは考えています。

このグローバル人材にとって、必要不可欠なコミュニケーションの道具として、英語教育の役割はその重要性を増しています。20世紀後半までは、英語はあくまでも「重要な外国語」という認識が一般的でした。しかし、近年加速する情報・文化・経済圏の拡充により、英語は「世界の共通語」としての地位を確立したと言えます。これまでのように、英語教育を外国語教育の一部として、あるいは同列に語ることにはすでに時代の趨勢からの乖離を意味すると言えそうです。なによりも、英語を母語としない人々

が互いの共通言語として英語を使う、いわばネイティブスピーカーの存在しない英語圏社会が急速に世界を覆い尽くそうとしている現状認識を、今、私たちは共有する必要があるのではないのでしょうか。

本学ではこうした時代の到来を予測し、既に15年前から「LEO」という愛称で親しまれる英語コミュニケーションプログラムを開設し、英語を英語で学ぶ授業を4段階の習熟度レベルに分けて毎日開講してきました。大学、短大、そして社会人まで広く

大手前におけるグローバル教育

開放されたプログラムは、毎年延べ700名が受講する英語教育として成長してきています。更にLEOの成長の中から一般教養科目を英語で学ぶ講義の必要性が組上り、昨よりグローバル人材の育成を念頭におきながら試験的に始動したプログラムが「グローバル日本学プログラム」通称GJSです。主として「日本」に関わる講義を英語で学ぶ科目群によって構成され、日本人学生と世界中からの留学生

が、教室内はもちろん課外においても、互いから学び合うことのできる教育環境を提供するプログラムとして準備されました。2013年からは本格的にGJS科目が複数開講され、学生にとっては、同じタイトルの科目を、日本語あるいは英語で学ぶという選択が可能となります。更に、海外提携大学との協定により、大手前と海外大学双方の学位を取得するダブルディグリー制度も現実のものとなってきています。また、本学とセントラルフロリダ大学との協定により、アメリカ・フロリダの「ウォルト・ディズニーマーランド」でのインターンシッププログラムを開始するほか、フランス・パリにある世界有数の美術高等教育機関「エコール・デ・ボザール・ド・パリ」と9月より、学生の交換留学を開始いたします。大学教育の現場における国際化を更に推進するために、私たちは今後とも、こうした様々な取り組みを実施し、より地に足のついたグローバル教育を実現していきたいと考えております。

総合文化学部教授／国際交流センター長
安藤 幸一

教育ボランティアにインタビュー



教育ボランティア
田畑 芳彦氏

株式会社クボタ常務取締役を経て、系列会社会長に就任。2012年退職。イギリスに6年半、アメリカに5年半駐在のほか、アジア欧州を中心に、50カ国に出張するなど海外事情に精通。豊富な海外経験を元に実業界からのアドバイスをいただいています。

大手前生は、皆それぞれに自分の進みたい道や志望がはっきりしている人が多いですね。西宮お菓子プロジェクトの発表会では、発表している学生たちの目がキラキラと、そしてとても生き生きとしていたのが印象的でした。目標が明確で、ひとつのプロジェクトとしてチームで取り組むといった体験がよかったのではないのでしょうか。クリエイティブに物事を成し遂げることの喜びや楽しさを身をもって体験されたのではないかと思います。実践教育のよさを感じました。

本学のグランドデザインおよび 教育ボランティア

社会人の目から評価・助言していただく「教育ボランティア」の導入です。これまでに卒業生、企業経営者・人事研修担当者、キャリアカウンセラーなど184名に登録していたが、24年度は延べ人数で200名以上の方々が授業・面接練習会などのプログラムに参加し、学生との交流を行いました。特に大学1・2年次生の授業では

学生の発表場面の映像などがeポートフォリオとして蓄積されており、自ら成長している姿を目で確認して、ふり返り、自信を持ってもらうことが狙いです。このような取り組みは国内の他学ではほとんど例がなく、本学の大きな強みになっていくことが期待されます。

就業力育成支援室長
正田 浩三

主なプログラム

大学1年向けキャリア相談会（2012年12月）

本学体育館で実施し、4日間で教育ボランティア63名が参加しました。写真は1対1のアドバイス場面。奥は順番待ちの学生たち。



大学1・2年キャリアデザインⅡ・Ⅲ授業（2012年12月～2013年1月）



全体で13日間のプログラムに教育ボランティア103名が参加しました。写真は1年生の授業風景。プレゼンテーション後のアドバイス場面です。左端の女性が教育ボランティア。

短大・面接練習会（2013年2月）

教育ボランティア37名が参加。キャリアカウンセラーの立場から勇気づけ、自信を持って面接への動き出しを目的としたアドバイスを行っていただきました。写真は面接後のアドバイス。教育ボランティアと学生がふり返り中、後方で学生が見学。



行われたイベントや、学生の皆さんの活躍をご紹介します。

大手前大学

2013年3月7日 14:00
西宮市民会館アミティホール(西宮市)

2013年



830名の方にご観賞いただきました

テレビ・新聞等、メディアからの注目も高く、数々の取材もしていただきました

2012年1月17日
13:00・18:00 (2部公演)
ピッコロシアター (尼崎市)

2012年



午前・午後の2部制で、約800名の方にご観賞いただきました

「あの空をこえて」
震災復興支援ミュージカル
多くの感動を呼び、2年連続上演！

昨年の1月17日、ピッコロシアターは感動の渦に包まれました。18年前の阪神淡路大震災で大きな被害を受けた本学。当時の在校生の手によって地域を巻き込んで行われた復興祭をモチーフとした震災復興支援ミュージカル「あの空をこえて」が、18名の学生の出演によって上演されたのです。短大60周年記念事業の一環として、音楽演奏・舞台美術も学生が中心となった学園挙げてのイベントで、鑑賞料は前年の東日本大震災の復興支援に寄付と、意義あるものとなりました。

今年は昨年の好評を受け、西宮市、西宮市文化振興財団の協力のもと、文化庁の「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ」事業として衣替え、3月7日に西宮市民会館アミティホールにて再演しました。連日の稽古を乗り越えてきた17名の熱演が、830名の観客に大きな感動を与え、好評のうちに終えることができました。会場入り口では、出演学生の東日本大震災への募金の呼びかけに、多くの方々にご協力いただき、早速その志を被災地にお届けしました。

「あした天気になあれ！ちばてつや展」

2012年10月6日～21日

大手前アートセンターにて「あした天気になあれ！ちばてつや展」が開催され、原画50点、少年マガジンやコミック等350点を中心に、懐かしい作品が数多く展示されました。初日には、国際教養大学准教授のアシュモー氏による講演や、ちばてつや氏とモンキー・パンチ氏によるトークショーも開催。また期間中、東日本大震災で大津波により甚大な被害を受けた「石ノ森萬画館(宮城県石巻市)復興支援スペシャルチャリティーオークション」も実施されました。



2回目の快挙！ ゴルフ部女子全国大会優勝！

2012年6月に行われた第35回全国女子大学ゴルフ対抗戦において、本学ゴルフ部女子が見事優勝を飾り、大学日本一となりました。これは2009年に続く2度目の優勝で、大会の結果、9月に行われた日米大学対抗ゴルフ選手権の出場権も獲得。この活躍で、同部員たちは西宮市長に優勝報告を行ったほか、先日はNHKの番組にもゲスト出演するなど、数々のメディアの取材も受けました。

日頃の練習の成果が日本一という素晴らしい結果につながりました。今後も本学ゴルフ部の活躍にご期待ください！



第35回全国女子大学ゴルフ対抗戦
主催：日本学生ゴルフ連盟
会場：北海道オークウッドゴルフクラブ
出場校：10大学

●大手前大学ゴルフ部
多くのプロゴルファーを育成した「坂田ユニニアゴルフ塾」で知られる、坂田信弘氏が総監督を務める。

大手前大生、各方面で活躍中！

初の一般公募となった「5代目おけいはん」に、本学メディア・芸術学部2年生の畦田ひとみさんが見事選ばれました。以前から芸能界に興味を持っていた畦田さん。演劇に興味があり、舞台について幅広く学びたかったので、専攻があり、それ以外にも興味あることを学ぶことができる、大手前大のメディア・芸術学部を志望。より舞台に興味が出てきたので、2年生からは演劇の授業を受講してみたいのだそう。

「まさか自分が選ばれるとは思ってなかったのでびっくり！最終選考会とはとにかく楽しもうと思って臨みました。決まった時は、応援してくれた友人からたくさんのお祝いメールが届き、先生も抱き合って喜んでくれました」と、振り返ります。「おけいはんになってからは、ふだんできないよう

5代目「おけいはん」として活躍中！
メディア・芸術学部2年生 畦田ひとみさん

な経験がたくさんできて、とても楽しいです。毎日とにかくチャレンジの連続。皆さんに親しみを持ってもらえるような“おけいはん、になるのが目標です」と語る畦田さんは、学校生活では友達と過ごす時間が一番好きなのだとか。春からは2年生。お仕事と大学生活の両立、頑張ってください！



●おけいはん
京阪電気鉄道(京阪電車)のイメージキャラクター。2000年に始まり、現在2012年11月1日は5代目。また5代目は、初の公募により選ばれた。

大手前大学主催のイベントピックアップ！

マンガ家・里中満智子さんをゲストにトークショー

2013年2月11日



メディア・芸術学部の卒業制作展が30周年を迎えるのを記念し、マンガ家・里中満智子さんをお迎えして、記念トークショーを開催。本学メディア・芸術学部の加藤一彦(モンキー・パンチ)客員教授、倉田よしみ教授(司会進行)、総合文化学部・尾崎耕司准教授も出演し「歴史マンガを語ろう」をテーマに盛り上がりしました。

西宮市産学官民連携事業

西宮お菓子プロジェクト

「スイーツ学」を学ぶ学生が西宮菓子工業組合加盟の6店舗と共に、商品化をめざして「日本酒をとりまくお菓子」を開発するという2年にわたるプロジェクト。PBL授業の一環として2011年にスタートし、翌年春に「アイデア発表会」を開催。秋の「西宮和菓子まつり」での試食会・アンケートの実施を経て、学生たちのアイデアがもりこまれた新作菓子が誕生しました。すでに店頭に並んでいるものもあり、順次販売されていくことに期待が高まります。



☆西宮菓子工業組合からの参画店舗(50音順) あおやま菓匠、御菓子司 君栄堂、株式会社 高山堂、谷矢製菓 株式会社、有限会社 成田家、御菓子司 大和



「西宮まちたび博2012」オープニングセレモニー

「HAPPY CREATORたかいよしかずの仕事とみやたんの宝もの展」 西宮市的一大イベントが本学で開催されました

2012年9月15日に、西宮市全域を舞台に様々な催しが繰り広げられる「西宮まちたび博2012」のオープニングセレモニーが本学で開催されました。またそのオープニングイベントとして、「HAPPY CREATORたかいよしかずの仕事とみやたんの宝もの展」が、9月15日より30日の期間で、大手前アートセンターで開催されました。西宮市在住のクリエイター・たかいよしかず氏のこれまでの作品展示を中心に、サイン会やワークショップなどのイベントも行われ、来場者数は約3000人(過去最高)と期間中は大いに盛り上がりしました。



災害復興支援事業

石巻市の児童公園予定地に東屋を建設

大手前大学メディア・芸術学部建築・インテリア専攻の井之上節朗准教授と本学学生が中心となって制作していた東屋が、全国から集まったボランティア大学生41名の協力を得て、宮城県石巻市の児童公園OPEN予定地に完成。関西の輸入木材企業にご提供いただいた端材を利用し、本学にて部材の制作を行い、現地で組み立てを行いました。現地では、今でも子どもたちが安心して遊べる公園が不足しています。今後もこの活動は継続されていく予定です。一人でも多くの卒業生・在学生・教職員の方々のご協力をお願いします。



大手前短期大学

大手前大学・大手前短期大学

ニュース&トピックス キャンパス内外で

大手前短期大学創立60周年記念フォーラム

「今、次代を担う人材に求められる力『おもてなし』のコミュニケーション」

（読売新聞大阪本社広告局後援）

2011年9月2日 於 リーガロイヤルホテル大阪

「おもてなし」をテーマに開催された、創立60周年記念フォーラム。「おもてなし」の精神は、「ものづくり」と並んでわが国が世界に誇れる日本人の国民性であり文化であり、様々な産業やビジネスシーンにおいても改めて注目されています。これからの社会を担う若者たちが、こうした尊い心をどう理解し成長していくのか。リゾート運営で脚光を浴びる星野佳路氏と茶の湯界に新風を吹き込む千宗屋氏が基調講演し、それぞれの「おもてなし論」を展開。パネルディスカッションでは、日本人の価値

意識や世界に誇るべき国民性に議論が及び、台風で悪天候の中、来場した約300名が熱心に聴き入りました。

基調講演1：
「おもてなし」を営する～利益と満足度を両立する組織への模索～
講師：星野佳路
（株式会社星野リゾート代表取締役社長）

基調講演2：
茶の湯は果たしてもてなしか？
講師：千宗屋（武者小路千家15代家元後嗣）

今、次代を担う人材に求められる力「おもてなし」のコミュニケーション
パネリスト：
星野佳路×千宗屋×岡部まり（タレント・エッセイスト）
コーディネーター：福井 有



70周年…そして100周年に向けて！

大手前短期大学創立60周年記念事業のご報告



創立60周年記念式典・祝賀会・コンサート

2011年10月22日 於 リーガロイヤルホテル大阪

第1部の記念式典では、福井有理事長式辞に始まり、ご来賓の方々からのご祝辞をいただきました。第2部の祝賀会では、鏡開きによる幕開けとともに、buffet形式でのパーティがスタート。第3部の記念コンサートでは、ゲストにテノール歌手・秋川雅史氏を招き、素晴らしい歌声を堪能しました。ご参会いただきました皆さま、ありがとうございました。70周年…そして100周年に向けて、短期大学同窓会双葉会をさらに盛り上げてまいりましょう。

大手前短期大学 創立60周年記念募金

ご協力をいただきましたありがとうございます。大手前短期大学は、創立60周年記念にあたり、学園と同窓会の合同記念事業として「短期大学学生奨学金制度」を立ち上げ、皆様からのご寄付を募っております。日頃より、本学園を支えてくださる皆様方からのご厚志を賜り、誠にありがとうございます。募金状況のご報告を8面に掲載しておりますので、ご覧ください。



そして使いやすく変身！
いたみ稲野キャンパスの施設が美しく！

トイレ
リニューアル

2011年にN棟トイレの洋式化、W棟1階の男女トイレのバリアフリー（車椅子対応）化を行いました。2012年にはW棟南側（2・3階）トイレの洋式化、W棟3階女子トイレにパウダースペースが設けられました。また「ビューティB」ユニットの2012年度新設に伴い、メイクの実習をより本格的な環境で学べる教室「ビューティラボ」を設置。いたみ稲野キャンパスの施設は、機能的にそして美しく生まれ変わりました！

声優や司会など憧れの“話す仕事”をめざす 声優・アナウンサーユニット スタート



発声の基礎や専門的な話し方の技術を身につける科目を用意し、声優・アナウンサーユニットが2013年度からスタートします。担当講師には、大手前大学卒業生であり、『BLEACH』（井上織姫）『おジャ魔女どれみシリーズ』（妹尾あいこ）など、声優として活躍中の松岡由貴さんをお迎えします。



パリで生まれた世界初のファッション教育機関「ESMOD」の日本校、エスモードジャパンと提携。本学卒業生は、特別推薦入学ができ、入学金等の費用が免除になるなどの優遇を受けることができます。ファッションビジネスで活躍するチャンスが広がります。

世界のファッションビジネスの最前線へ！
エスモードジャパンと提携

短期大学・入試最新トピックス！

接客サービスの基礎から応用までをしっかりと身につけるサービスマネジメントユニット新設！

接客、販売などのビジネスの現場に必要な実務能力の習得をめざす、サービスマネジメントユニットがスタートします。「ホスピタリティ論」「ホテルビジネス演習」「観光と地理」「接客実務演習」などの科目を用意。

同窓生特別推薦入試をご存じですか？

短期大学同窓生（在学生含む）からの推薦があれば受験可能な特別推薦入試は、科目試験の免除、入学金全学免除などの特典があります。詳しくは、大手前短期大学 アドミッションズオフィスまでお問い合わせください。（TEL：0798-32-7541）



伊丹市立こばと保育所の園児さんと交流

伊丹市立こばと保育園にて、保育士さんの指導のもと、3歳児から就学前の園児を対象に、水遊びやお絵かき、遊戯などの保育の補助を行いました。また後日、園児さんが今度は、いたみ稲野キャンパスを訪れ、中庭の芝生で元気に遊びお弁当を食べるなど楽しい時間を過ごしていました。休み時間を利用した学生たちが、自主的に園児の皆さんと一緒に遊ぶ、ほほえましい光景もありました。

JR猪名寺駅を装飾展示！

いたみ稲野キャンパスの最寄駅であるJR猪名寺駅構内において、JR社員の方々と協力し、四季折々の装飾展示を行っています。企画立案から展示物の完成まで、学生たちと社員の方々との深いコラボレーションが展開されています。



環境保全活動の一環「水辺まつり」に参加

猪名川・藻川の環境保全活動の一環としての「水辺まつり」に参加しています。産学連携教育でご協力いただいた、キューピー株式会社の社員の方々とともに、実行委員会のメンバーとして活動しています。

大手前大学・大手前短期大学では、学びを社会へ役立てたいと、さまざまな地域貢献活動にも取り組んでいます。

社会とかかわる学び。学びを地域にかかわる活動へ。学びを大切にしています。



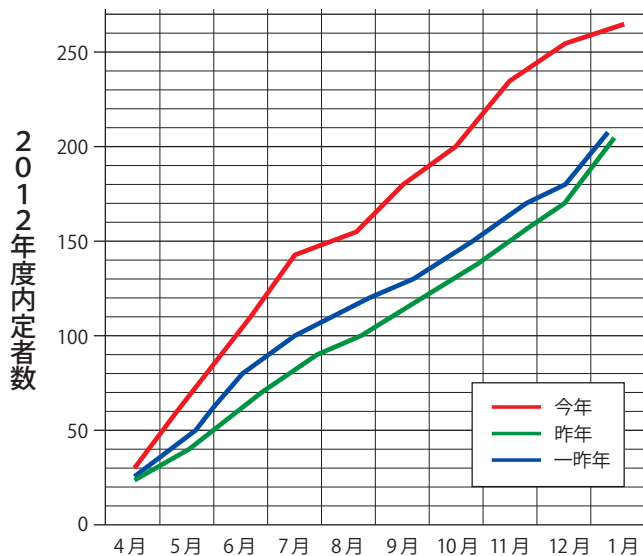
災害復興をみすえた「文化遺産学」 —史学研究所の新たな取り組み—

史学研究所では、文部科学省からの助成（戦略的研究基盤形成支援事業）をうけ、「文化遺産学」という新しい分野の取り組みを進めています。国内だけでなく、海外も対象に、歴史、考古学、美術工芸の調査研究をおこなっています。この中では、3次元レーザー形状計測といった最新の技術も、積極的に取り入れています。



文化遺産フォーラム風景

また、東日本大震災をきっかけとして結成された「被災文化遺産支援コンソーシアム（CEDACH）」と連携しながら、文化遺産保全活動の支援を進めています。地域社会の復興で文化遺産が果たす役割について考え、災害を示す歴史・考古・民俗の資料を研究する「防災遺産学」の確立をめざしています。学生



卒業生の皆さんにまずお詫びを申し上げます。
昨年までの大手前大学の就職実績は、決して立派なもの

ではなく、学生たちの努力に十分応えていたとはいえず、また学生たち自身の努力で実績は変えられるという可能性

新しい「伝統」が、いま始まります！

〜キャリアサポート室からの報告〜

を心から信じていたとはいえないものでした。しかし前年度、就職活動スタートが2カ月遅くなるという変革を機に

実施月	イベント	内容	対昨年
10月	ガイダンス	就活の基本理解 エントリーシートと履歴書の書き方	+21% +28%
11月	ガイダンス 対策講座	職種・業界説明会 履歴書対策	新規実施 +60%
12月	対策講座	面接・グループディスカッション対策 6大学合同ディスカッション対策	+29% 新規実施
1月	ガイダンス	志望動機の書き方 合同企業説明会の案内	新規実施 +19%

就職活動全体の取り組みと意識改革を図りました。
その結果、今春卒業生はグライフのように従来とは全く違う実績で推移しています。
2013年1月現在の内定者数は従来であれば卒業式直前の実績を少し上回るペースです。
この頑張りをみてきた新4年生も、ガイダンスや対策講座で、対昨年1・2〜1・5倍もの参加者数となっており、かつてない成果を期待できる動きです。
就職実績は結局、一人ひとりの学生の頑張りの積み重ねです。今までの就職実績がよくなかったからといって、今年も結果が悪いというわけではなく、今年がよかったからといって今後も就職実績がいいとは限りません。これから学生一人ひとりが、自分で考え決断することによって自分らしいキャリアを歩みだすことの支援に、常に新しい気持ちで挑戦し続けていきます。

57.1%を誇る高い卒業率！ その5つの理由

2011年度卒業生の卒業率は57.1%で、全国平均16%※の約4倍でした（※2011年度文部科学省学科基本調査による全国の通信大学の卒業率）。高い卒業率の理由は5つあります。

①eラーニングだから24時間を有効活用

通信授業はデジタル教材を活用。インターネット環境さえあればいつでもどこでも何度でも繰り返し学べるので便利。学習時間を自分でコントロール可能。



②クール制だから単位修得チャンスが最大5回

1年を4分割したクール制を導入。単位修得試験は最大5回受験可能。クールごとに履修計画を見直せ、自分のペースで学べます。

③学費がシンプルだから安心して学べる

授業料には、教材費やスクーリング受講料など基本的な学習費用がすべて含まれているから、追加費用の心配がありません。

④学びが楽しくなる170科目開講

現代社会を読み解くための全170科目を開講。心理・コミュニケーション関連の科目が豊富に開講され、認定心理士の資格取得もめざせます。

⑤ひとりで悩まない万全のサポート

24時間以内の返信を原則に、スタッフが学生の質問メールに対応。幅広く相談に応じ、目標達成を支援します。

大手前大学で、あきらめないことの大切さを学びました



2012年3月卒業
（正科生3年次編入学生）
甲斐千穂さん（管理栄養士）

短大卒業後に大手前栄養学院で栄養士の資格を取得して現職に至ります。通信教育課程の存在は、当時の先生からの紹介で知りました。実は私は他大学の通信教育課程に編入学し、仕事との両立が図れず、断念した経験があります。けれども大手前のeラーニングはわかりやすそうだったこと、コミュニケーションや福祉など、自分のキャリアアップに役立ちそうな科目が多かったことに魅力を感じ、入学を決意。入学後学んでみて、まずeラーニングが非常に学びやすいことに驚きました。確認テストやレポートを繰り返すことが復習になり理解しやすく、なにより提出期限が自由なので、仕事との両立が図りやすかったです。一度は断念した大学卒業資格を大手前大学で取得することができ、あきらめないことの大切さを噛みしめています。大学に入学する理由はそれぞれだと思いますが、ここで学ぶことは人生において間違いのないことだと思います。ぜひ、チャレンジしてください！

大手前大学 通信教育課程

おとなが一步を踏み出す時の決意と勇気
大手前大学はしっかりと受け止め応援します

お問い合わせ先

大手前大学通信教育部事務局
（さくら夙川キャンパス）
TEL：0798-32-7546（直通）
http://dec.otemae.ac.jp
E-mail:info-dec@otemae.ac.jp

資料請求
フォーム



東京サテライト開設！

2012年2月「大手前大学 東京サテライト」がオープンしました。アクセスの便利な秋葉原にあり、スクーリング授業のほか、入学説明会などイベント会場にも。

大手前大学 東京サテライト

住所：東京都台東区上野5-3-4
クリエイティブOne秋葉原ビル9F
・JR秋葉原駅中央改札口から徒歩7分
・東京メトロ末広町駅から徒歩2分

今秋から学びませんか？ 2013年度9月入学の「科目等履修生」「聴講生」を募集します。

大学の学びを気軽に1科目から！ 心理学、ビジネス、教養、福祉などあなたの興味や目的に合わせて自由に選べます。科目等履修生なら人気の高い「認定心理士」の資格もめざせることも魅力！ 自宅で学べる分かりやすいeラーニングであなたもキャリアアップをめざしてみませんか？

皆さんの学びたい！をかなえます 同窓生減免制度をぜひご利用ください！

大手前学園ご卒業生の皆さまは、3年次編入学生として入学し、最短2年間で大卒資格をめざしていただくことができます。科目等履修生の場合は、興味のある科目を1科目からも受講可能。同窓生・学費減免の特典（※）をご用意していますので、ぜひ気軽にお問い合わせください。（※減免は初年度のための適用となります）

大手前学園卒業生入学時の減免（初年度納入金） ※2013年度4月入学版

対象	入学検定料	入学金	在籍料	授業料	合計
一般	10,000	30,000	24,000	316,000	380,000
大手前学園の卒業生	0	0	24,000	158,000	182,000
大手前学園のいずれかの学校に1年以上在籍し中途退学した者	0	0	24,000	221,200	245,200
大手前学園のいずれかの学校に出願時に在学している学生の保護者（入学見込者の保護者含む）	0	0	24,000	221,200	245,200

※科目等履修生・聴講生は入学検定料のみ減免

大手前 栄養学院

国境を越えて
活躍中！
卒業生
レポート



Midori Rahma Safitriさん
(旧姓)岡本みどり 管理栄養士
大手前栄養学院専門学校
栄養学科46期生(2002年3月卒)

■プロフィール インドネシア・ロンボク島在住。陸上競技に明け暮れた中学生のころ貧血に悩み、スポーツ栄養士を目指す。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科卒業後、大手前栄養学院専門学校入学。卒業後は、大学の学生寮で栄養士として3年間勤務し、2005年管理栄養士取得。その後青年海外協力隊のスタッフとして、インドネシアのロンボク島で栄養指導者として活躍。自身のブログ「おいしいね、うれしいね、ありがとう」にて情報発信中。

<http://ameblo.jp/hijau39/>



「すこやか おやつコンテスト」の レシピ本が完成！

村のお母さんたちのアイデアと愛情が
いっぱい詰まったレシピ本

すこやかおやつ
コンテストの様子



小学校での
おやつ
の授業



ポシアンドゥの体重測定



大学でスポーツ科学を専攻し、より身近な社会や人々と共に歩める仕事がしたいと思い、大手前栄養学院に入學。

在学中、国際協力のボランティア団体にも参加、食で国際協力の道に行こうと決め、卒業後大学の学生寮での栄養士業務を皮切りに、ボランティア活動と並行しながら様々な経験を積み、2005年管理栄養士取得。2010年に青年海外協力隊活動に応募し、インドネシアのバリ島の東隣に位置するロンボク島へ(イスラム教徒が多く、面積、人口は京都府とほぼ同じ)。西ロンボク県保健衛生事務所栄養課に配属、母子栄養事業に関わるようになりました。島の主要産業は農業で、年に2〜3回もお米がとれ、野菜や果物、魚も豊富なのに、低栄養の乳幼児が多いことが問題で、原因は貧困、不十分な教育、保健従事者の技術や経験不足など聞いていましたが、実際にはいろいろな要因が複雑に絡み合っていると感じました。

インドネシアには、ポシアンドゥと呼ばれる医療サービスがあり、各郡の保健センター職員が村々を巡回、5歳未満児と妊産婦を対象に体重測定、予防接種、栄養相談などを行います。これが保健衛生事務局へ毎月レポートされます。私も

帯同し、村のお母さんたちから日々の生活の様子を伺いながら、時には離乳食教室や小学校の保健教育など行い、大半は村の人々と費やし、仕事以外の時間も地元の食材を市場で購入して料理したり、近所の人々と他愛もないおしゃべりしながらなるべく現地の環境や価値観に触れました。

その結果、村のお母さんたちは栄養の知識がないのではなく、知っていることをうまく実践できないんだということがわかりました。そこで、県の職員と共に、低栄養の子どもをもつ村のお母さんを集めて【すこやかおやつコンテスト】を開催。調理時間、材料費、使用する食材と器具に制限が設けられたなか、お母さんたちはとてもおいしいおやつを作ってくれました。そのレシピは冊子にまとめられ、県下に700以上あるポシアンドゥ実施所などに配布されました。「村の人もこんなに上手に栄養のあるおやつが作れるんだね」と県の職員からこの声を聞いた時「そうでしょ!」と嬉しくなりました。

協力隊の活動後、縁あってロンボク島の方と結婚しました。任期は終わりましたが、引き続き、村の人々と楽しく豊かな食卓を作っていこうと思っています。

管理栄養士国家試験合格者数

7年連続第1位を達成！

(全国の専門学校&大阪府内の大学を含む管理栄養士養成校中)

栄養学院では第26回管理栄養士国家試験において、現役・既卒を含め126名の合格者を輩出。管理栄養学科第1期生から7年連続で合格者数第1位という快挙となりました。平成23年管理栄養学科の新卒者の合格率は92%で、80名の方が管理栄養士を取得

とサポートスタッフが一丸

となって学生をバックアップしています。

また、栄養学科卒業生には、毎年秋から国家試験までの土曜日を使って、働きながら管理栄養士をめざす卒業生に対する講座を開講。受験生にTA(ティーチングアシスタント)

としてサポート室スタッフの努力が、毎年素晴らしい成果を成し遂げてくれます。食を支える分野で、卒業生のネットワークが広がっています。

TA(ティーチングアシスタント)

としてサポート室スタッフの



「食で国際交流」の夢を叶えた岡本さん

大手前 製菓学院

大手前製菓学院

「大菓祭」開催！

15周年を迎えた大手前製菓学院。今年も1年コース・2年コースの学生が、製菓の知識と技術の集大成として、洋菓子・和菓子・製パン部門ごとに数々の作品を製作、多くの方に見ていただく機会として恒例の「大菓祭」が2月16日・17日に開催されました。



理事長賞：araignée
2年コース 東郷 恵梨菜さん



学院長賞：森の小人達
1年コース 渡利 瞳さん



学院長賞：焼昇火華
2年コース 岡田 雅生さん

第5回全国製菓衛生師養成施設協会 技術コンクール「決勝戦」に出場！

2013年2月24日に、第5回製菓衛生師養成施設技術コンクール全国大会の決勝に本校から2名の学生が挑みました。普段の授業とは環境の違う、緊張感漂う会場で出場者は、それぞれの作品を時間内に完成させました。結果は、和菓子部門で、製菓学科2年生の板倉未佳さんの「七変化」が協賛会社賞を受賞しました。この結果をもって更なるチャレンジそして技術の向上にますます期待が高まります。



ロールケーキ 長さ32m



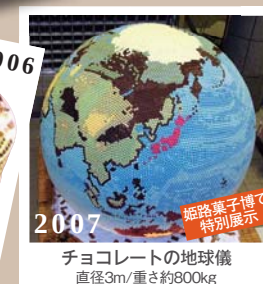
クッキー大壁画 たて5m/横6m/重さ270kg



ピラミッドケーキ
一辺3.65m/高さ5m/重さ約600kg



お菓子の時計台
直径2.7m/高さ2m/重さ約800kg



チョコレートの地球儀
直径3m/重さ約800kg



お菓子の森のミュージアム
高さ3.5m/約3万枚の葉および枝幅約3m



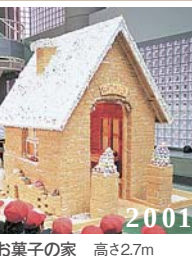
お菓子の水族館
水槽：高さ2m (15m²)・幅3m



宇宙に浮かぶお菓子の家
直径2.2m×長さ3m/総重量440kg



お菓子の正倉院
横幅4.5m/奥行2m/高さ1.6m



お菓子の家 高さ2.7m



お菓子のリース
直径3m/重さ約600kg



クロカンブッシュ
高さ5.5m/重さ約300kg



かぼちゃのランタン
直径2m/高さ3.5m/重さ約600kg



クフ王のピラミッド

1998年 第1回ロールケーキ(32m)から始まった日本一企画。15回目を迎えた2012年はエジプトのギザにあるクフ王のピラミッド(高さ約5m、一辺4m)を完成させました。ショートブレッドを一つ一つ重ね、本物さながらの迫力ある作品となりました。毎年、学生と教員の努力の成果として数々の作品を生み出してきた日本一企画。協力し合い、一つの作品を作り上げることから多くのことを学び、卒業していく学生にとって忘れられない大手前製菓学院の歴史となって刻まれています。また新たな作品への挑戦が待ち遠しいです。

大手前短期大学創立60周年記念募金の現状

平成24年12月31日現在での募金状況は次の通りです。
244件/ ¥31,534,035－
内訳は、以下の通りです。

	人数	金額(千円)
卒業生	64	830
在校生・保護者	5	70
同窓会	3	8,000
法人・企業	30	14,800
教員	49	1,912
職員	49	1,150
元役員・元教職員	12	1,525
理事・評議員	21	2,865
その他	11	382
合計	244	31,534

◆◆◆◆ 芳名録 ◆◆◆◆

ご寄付いただきました方々のお名前は、次の通りです。
(平成24年12月31日現在、属性別50音順、敬称略)

◆卒業生 石原紀子、岩根寄子、上村きさ子、宇田みどり、浦野郁子、浦畑トシエ、太田美誉子、大庭佑美枝、小川泰子、尾田美智子、海部博子、上出委代子、加茂雅子、川原洋子、河南真実、桐山千晶、楠田美貴子、倉山茜、桑原房子、小林良子、齋木弘子、咲野静子、塩崎道代、芝崎信子、柴田直江、新靜、高石照子、高瀬敦代、高野いくよ、辰巳満子、田中正子、中平江美、西嶋佑季子、西野弘美、野中香徳里、長谷川美千代、濱口美知子、平井蓉子、保津和子、前田美和子、松岡多津子、松平玲子、宮本千代美、村田保子、森本ひふみ、安田千穂子、山田タカ子、山手洋子、山本英乃

◆在校生 川東広幸
◆保護者 大麻裕一、佐藤英、山本俊一
◆同窓会 大手前栄養学院同窓会若葉会、大手前大学同窓会、大手前短期大学同窓会双葉会
◆法人・企業 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社大手前ファシリティーズ、株式会社オフィス甲南、株式会社関西アーバン銀行、銀泉株式会社、株式会社コアズ、廣告社株式会社、神戸造園株式会社、株式会社神戸ポートピアホテル、医療法人社団甲友会、株式会社シミズ・ビルライフケア関西、株式会社進研アド、住友信託銀行株式会社、大和証券株式会社、株式会社図書印刷同朋舎、株式会社日建設計、西日本電信電話株式会社、株式会社ビル代行、広瀬化学薬品株式会社、株式会社不二家商事、株式会社毎日コミュニケーションズ、三谷商事株式会社、株式会社三井住友銀行、理想科学工業株式会社、株式会社ロイヤルホテル、DTSS株式会社、SMBC日興証券株式会社、SMBCフレンド証券株式会社、株式

会社TCD
◆教員 赤尾正、芦田秀昭、芦原直哉、井澤幸三、稲積包昭、潮田嘉子、大野治代、岡田真理子、岡山高秀、小川武範、奥上紫緒里、加川稚佳子、川口宏海、川島正章、河野昭子、坂本理郎、佐藤晴美、島崎千江子、青海邦子、高澤圭一、鳥巢泰生、二階堂達郎、禾本悦子、野坂純子、野波侑里、萩原美智子、畑耕治郎、廣田政生、福井愛美、藤田昌弘、藤田道代、古川和子、古勝公子、三木紳一郎、水原道子、宮川岳雄、森博志、山田信義、山田洋子、横谷弘美、吉田曉史
◆職員 阿部俊平、石野伸一、伊藤寛土、糸数享、稲垣勝、魚津知克、梅林明子、大江俊司、奥田隆、加治屋秀樹、金森正一、岸本真之、楠秀徳、坂手喜彦、佐藤仁、重田剛志、清水淳子、鈴木彰吾、竹内広子、竹内正和、谷久保りか、檀野光代、塚本香織、辻村不二夫、寺尾涼子、奈良修、二階堂裕子、額田由美子、服部理香、原英子、人瀬孝二、平野裕子、福田晃久、藤井祐貴、藤田武夫、正井道夫、正田浩三、村上由紀、森祐子、森本喜彦、吉田倫子、吉村美恵子
◆元役員・元教職員 嘉納和彦、川本皓嗣、越野隆子、笹山益子、下瑛子、鶴原新喜夫、中野武乃、仁平利男、堀美津代、水野明子、溝口正、柳生ヤエ子
◆理事・評議員 上島康男、浦畑育生、柏木隆雄、小谷一子、下郷夫、高島正江、高橋美千子、辰馬章夫、辰野久夫、辻一郎、廣瀬努、福井秀加、福井有、福井要、福井洋子、藤原薫、松村昌家、三木正伸、森道子
◆その他 浅野文子、遠藤富祥、大江由佳、カヤシマフウト、木野昌也、小森津枝子、佐々木寛治、佐藤眞治、高橋哲男、中山広隆

なお、以上の方の他にもご寄付いただいておりますが、学園誌への氏名の記載をご遠慮されておられます。以上。
(法人本部財務部長 藤田武夫)



平成23年度 収支決算書

学校法人大手前学園の平成23年度の決算は、平成24年5月22日の理事会および評議員会で承認されました。つきましては、下記にその概要をご案内します。

資金収支計算書(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	5,012	人件費支出	2,573
手数料収入	52	教育研究経費支出	1,340
寄付金収入	21	管理経費支出	747
補助金収入	369	借入金等利息支出	29
資産運用収入	98	借入金等返済支出	397
資産売却収入	758	施設関係支出	154
事業収入	78	設備関係支出	234
雑収入	18	資産運用支出	1,808
前受金収入	1,029	その他の支出	98
その他の収入	830	資金支出調整勘定	△ 55
資金収入調整勘定	△ 1,147	次年度繰越支払資金	2,799
前年度繰越支払資金	3,005	－	－
収入の部合計	10,124	支出の部合計	10,124

消費収支計算書(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	5,012	人件費	2,593
手数料	52	教育研究経費	1,813
寄付金	23	管理経費	818
補助金	369	借入金等利息	29
資産運用収入	98	資産処分差額	37
資産売却差額	4	－	－
事業収入	78	－	－
雑収入	18	消費支出の部合計	5,290
帰属収入合計	5,653	当年度消費支出超過額	382
基本金組入額合計	△ 745	前年度繰越消費支出超過額	1,874
消費収入の部合計	4,909	翌年度繰越消費支出超過額	2,256

貸借対照表(平成24年3月31日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
固定資産	37,233	固定負債	1,442
有形固定資産	29,458	長期借入金	754
土地・建物・建物附属設備・構築物	27,316	退職給与引当金	686
機器備品	680	その他	1
図書	1,436	流動負債	1,503
その他	26	－	－
その他の固定資産	7,774	負債の部合計	2,945
特定資産	5,585	基本金の部合計	39,421
その他	2,190	消費収支差額の部合計	△ 2,256
流動資産	2,877	負債・基本金・消費収支差額の部合計	40,110
資産の部合計	40,110		

注※ 基本金は、学校法人の継続的維持を目的として設定されており、施設設備の取得等を行った時に、その額を消費支出に充当させないよう帰属収入から控除して組入れすることになっています。
(学校法人会計基準<文部省令第18号>)

第三者評価を受審します

大手前短期大学は2013年度に一般財団法人短期大学基準協会が定める短期大学評価基準を充たしているかの定期的な第三者評価を受審します。本学は、学校教育法の改正に伴い、既に2007年度に受審し「適格」認定をいただいております。今回は2回目の受審となります。

※2004年4月1日から、すべての大学・短期大学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営、施設設備等の総合的な状況に関し、文部科学大臣により認められた認証評価機関による評価を受けることが義務付けられました。



マイパティスリー神戸
マンゴーチーズケーキ
¥158(希望小売価格)
チーズケーキをカップに詰め込んだデザート。ふんわりスフレスポンジ生地+マンゴー果肉のドライフルーツ+クリームチーズベース+マンゴーソース



マイパティスリー神戸
ベリーのショートケーキ
¥158(希望小売価格)
ショートケーキをカップに詰め込んだデザート。ふんわりスフレスポンジ生地+クランベリー果肉のドライフルーツ+生クリーム入りカスタード+ストロベリーソース

「神戸プリン」で知られる、トーラク株式会社と、大手前大学総合文化学部スイーツ学専攻・松井博司教授が共同で開発したデザート2種類が、2013年3月、全国発売されました！
洋菓子の街・神戸エリアより新たなスイーツ文化をスーパー・コンビニなどで発売中！

コラボスイーツが新発売！

大手前大学
スイーツ学専攻
松井教授

トーラク株式会社

編集後記

大学はあと3年で創立50周年。社会は大きく変化しています。社会人基礎力の養成、グローバル化への対応。大学も変わらなくては。(昔) 甘い香りが漂い始めた夙川の桜。春の訪れになんだか心がワクワク！4月オープン of the スイーツ・ラボも楽しみ。変化し続ける大手前がもっと楽しみに。(藤) 大手前で迎える初めての春。初心を忘れず、すべての出会いに感謝し、日々、成長していきたい。Say hungry, say foolishを心がけて。(お) 教育をめぐる環境、また学園内にも新しい風を感じる。しなやかな感性を働かせて、新たに拓ける世界を日々楽しみながら学んでいきたいと思う春。(増) バラエティ感たっぷりの内容に、大手前の奥深さと可能性を感じました。学園の将来に予感を感じただけなら：制作冥利に尽きるといふもの。(平)

発行 学校法人大手前学園

〒662-8552 西宮市御茶家所町6-42
TEL 0798-32-7525 (法人本部)



●大手前大学
●大手前短期大学
●大手前栄養学院
●大手前製菓学院
●通信教育課程

<http://www.otemae.ac.jp/>
<http://www.otemae.ac.jp/tandai/>
<http://eiyo.otemae.ac.jp/>
<http://seika.otemae.ac.jp/>
<http://dec.otemae.ac.jp/>